

# 豊後大野警察署協議会

## 第1回会議の開催状況

### 第1 開催月日

令和7年6月2日（月）

### 第2 出席者

公安委員長

協議会 委員 5名

警察署 署長、副署長、総務会計課長、生活安全刑事課長、地域課長代理、  
交通係長 6名

### 第3 議事の概要

#### 1 業務推進状況等の説明

警察署から、令和7年6月1日に発生した交通死亡事故の概要、警戒の空白を生じさせないために当面取り組むべき組織運営上の重点及び業務重点推進状況について説明がなされた。

#### 2 諮問事項の説明

警察署から令和7年度の諮問事項

- ・交通事故防止対策及び詐欺被害防止対策

について説明がなされた。

#### 3 協議会委員（以下「委員」という。）からの意見・要望

##### (1) 子どもに対する防犯対策の啓発活動について

委員から「高校生との協働による啓発活動等の説明があったが、高校以外の小中学校への啓発やインターネットに関する啓発活動はしているのか」旨の質問がなされ、警察署から「高校生以外にも小中学校への防犯対策の啓発活動のほか、サイバーセキュリティカレッジという名称で小中高生に対し、インターネット・SNSの危険性や適正利用に関する広報啓発活動を実施している」旨の説明がなされた。

##### (2) 下校時の見守り活動について

委員から「教育委員会において催涙スプレーを導入した。これまで刺股を使用した不審者対応訓練をしていただいていたが、今後は、催涙スプレーを活用しての不審者対応訓練も支援願いたい。また、下校時の見守り活動についても、引き続きしっかりやってもらいたい」旨の意見がなされ、警察署から「登下校時のパトロール等を含め、地域の安全安心の確保に引き続き努めていく」旨の説明がなされた。

##### (3) 企業に対する防犯対策の啓発活動、不審者対応訓練について

委員から「学校における不審者対応訓練の説明があったが、警察は民間企業に対しても防犯訓練等をしているのか」旨の質問がなされ、警察署から「学校

以外でも民間企業に赴いて防犯指導、訓練も実施しているので、企業で要望があれば是非警察署に連絡いただきたい」旨の説明がなされた。

(4) 防犯カメラの設置促進について

委員から「警察では防犯カメラの設置促進をしていると説明があったが、個人宅の設置も支援してくれるのか」旨の質問がなされ、警察署から「県警察の補助事業の対象は自治会や商店街に限られる。個人宅への設置に関する補助事業については、自治体等に事業創設を働きかけている」旨の説明がなされた。

(5) 駐車場における交通事故防止対策について

委員から「駐車場における交通事故防止対策の説明を受けたが、どの駐車場で交通事故が多いのか」旨の質問がなされ、警察署から「商業施設や医療機関等の駐車場での事故が多く、事故形態は頭から駐車した車両の後退中における接触事故が多いので、バック駐車推奨施策を促進している」旨の説明がなされた。

委員から「豊後大野警察署が作成したバック駐車推奨の懸垂幕は非常に好評で効果が上がっていると思うので、引き続きバック駐車 of 広報啓発を進めてもらいたい。その他、駐車場における子どもの急な飛び出しに対する対策も必要ではないか」旨の意見がなされ、警察署から「バック駐車 of 懸垂幕については今年度も作成を検討している。子どもの飛び出し事故については現状を把握し必要があれば、店舗等に対する注意喚起など必要な対策を検討する」旨の説明がなされた。

(6) 中九州道対策について

委員から「中九州道における事故が今年は減少しているようにあるが、何か理由があるのか」旨の質問がなされ、警察署から「昨年度から中九州道での一斉検問や、速度取締り、パトカーによるパトロール強化等をしているので、警察の街頭活動も一因ではないかと考える」旨の説明がなされた。

(7) ツーリング対策について

委員から「昨年もツーリングバイク対策をしてもらったが、今年度もツーリングバイク対策をするのか」旨の質問がなされ、警察署から「県道57号線等で週末に多数のツーリングバイクが大きな音を立て、高速走行しているとの情報を把握しているので、今後交通指導取締り等の対策を行う予定である」旨の説明がなされた。

(8) 災害対策について

委員から「梅雨時期を前に防災パトロール等がされているが、災害対策について警察として何が重要と考えるか」旨の質問がなされ、警察署から「出水期の災害対応では、避難指示等の避難情報が出た場合の早期避難行動の意識付けが重要であるので、平素からの広報啓発が大切である。災害対策の中心は市町村であるが、市長村と連携して取り組んでいるところである。また、急傾斜地崩壊危険区域の住民や災害弱者と言われる高齢者、障害者等の実態把握、早期避難の働きかけも重要である」旨の説明がなされた。